

食と免疫の科学で、

誰もが健やかに生きられる社会に

貢献したい



学術研究院 農学系
教授(農学部)

田中 沙智

Sachi Tanaka



現在の仕事

やりがいを感じて取り組んでいるのは「食品免疫学」という研究分野です。私たちが日々口にする食品が、免疫の働きにどのような影響を与えるのかを調べる学問で、免疫とは体に侵入した細菌やウイルスから私たちを守る仕組みを指します。野菜や果物、発酵食品には白血球に作用して防御力を高めるものがあり、私は、こうした食品の力を科学的に解き明かし、食生活を通じて健康を支える方法を探っています。食べることを通じて多くの人の健康に貢献できる点に、大きなやりがいを感じています。

今の自分があるのは

信州大学農学部の助教として採用された際、女性教員を積極的に募集する制度があったことが、私のキャリア形成の大きな力となりました。また、日本農芸化学会の若手女性研究者賞の受賞は、研究を続けるうえで励みとなり、自信にもつながりました。近年は働く女性を取り巻く制度や環境が整い、家庭と仕事の両立に前向きに取り組む女性が増えていと感じます。今後は、出産や子育てと研究を無理なく両立できるよう、柔軟な勤務体制や研究支援がさらに充実することを期待しています。

今後の展望

学生に研究の面白さや意義を伝えながら、ともに成長できる環境をつくっていきたくと考えています。食品免疫学の研究では、細胞や動物を用いた基礎研究に加え、実際にヒトが摂取した際の効果を検証することが重要です。将来的にはヒト介入試験が行える体制を整え、成果を社会に還元できる研究プロジェクトを推進したいと思っています。また、教育と研究の両立を図りつつ、組織運営にも積極的に関わり、責任ある立場として大学の発展に貢献していくことを目指しています。



Message

後進の女性研究者や大学生、高校生のみなさんへ

学生時代から免疫に興味を持ち、その関心を軸に研究を続けてこられたことを幸運に感じています。研究を進める中で、専門外の知識であっても後に研究の幅を広げる大切な財産になることを実感しました。また、研究を継続するには知的な探究心だけでなく体力も重要です。私は学生と登山やスポーツに取り組み、心身を整えることを大切にしています。興味のあることを大切にしながら、日々の生活を整え主体的に学び続けてください。

